

1 研究主題

「進んでコミュニケーションを図り、
よりよい人間関係を築こうとする児童の育成」
～ つながりを大切した授業づくりを通して ～

2 めざす子供の姿（ESD の視点から）

低学年→つながりを「もつ」（友達，家族）
中学年→つながりを「広げる」（異学年，地域）
高学年→つながりを「深める」（地域，他校，他県，他国）

<総合・生活科>

- (1) 他者の意見や情報をもとに、よりよい解決策を考えようとする姿（①批判的に考える力）
- (2) よりよい未来を想像し、見通しや目的意識をもって計画を立てる姿（②未来像を予測して計画を立てる力）
- (3) 人・もの・こと・社会・自然などのつながりから、多面的、総合的に考えようとする姿（③多面的・総合的に考える力）
- (4) 自分の気持ちや考えを伝えるとともに、他者の気持ちや考えも大切にし、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿（④コミュニケーションを行う力）
- (5) 相手の立場に立って考え、友達と協力しながら行動する姿（⑤他者と協力する力）
- (6) 人・もの・こと・社会・自然などのつながりに関心をもち、それらを大切にしようとする姿（⑥つながりを尊重する態度）
- (7) 自分にできることを考え、進んで人のために行動しようとする姿（⑦進んで参加する態度）

<外国語>

- (1) 外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、自分の思いや考えを伝えようとする姿。
- (2) 外国の文化（言語，習慣，年中行事等）に対する理解を深めようとする姿。

3 研究仮説

進んでコミュニケーションを図り、

- 児童が話したり、聞いたりしたくなるような場面や課題の設定を工夫すれば、進んでコミュニケーションを図ろうとするだろう。

よりよい人間関係を築こうとする児童の育成

- 共に学ぶことのよさに気付くことができるような学習過程を取り入れることで、よりよい人間関係を築こうとするだろう。

※ 「共に学ぶことのよさ」とは、①多様な価値観に触れ、自分の考えを広げたり深めたりすることができることと、②一人では解決できない課題も、他者と関わり合いながら解決することで、共に課題を解決できた喜びを味わうという意味を含む。

4 仮説実証の手立て

総合・生活科	<ul style="list-style-type: none">(1) 課題設定の工夫 児童の興味・関心，児童の実態，教師の思いから，課題を設定する。(2) 情報収集の仕方の工夫 適切な情報収集の対象を選定する。（本・インターネット・人材の発掘など）(3) 整理・分析の仕方の工夫 思考ツールなどを活用し，今後の活動の道しるべとなるようにする。(4) まとめ・表現方法の工夫 整理・分析したことを活かし，必要感があり，効果的な表現方法を考える。<ul style="list-style-type: none">○児童の考えの実現○地域へ発信・○他校との交流○ICT を活用した表現課題を再設定する（プレゼンテーションソフト，動画，画像など）○ものづくり（料理・工作など）(5) 課題再設定の工夫 課題を解決する中で出会った新たな課題について自分事として捉えさせ，課題を再設定する。
--------	---

- (1) 場面設定の工夫
コミュニケーションを図る目的を明確にし、子どもが気持ちや考えを伝えたいくなる場面を設定する。
- (2) 題材選びの工夫
親しみのある身近な題材（言語材料）を選ぶ。
- (3) 言語材料の提示の工夫
○歌や絵本、動画、会話の実演等で、その時間に使う英語の音声や表現に十分触れさせる。
○最初から発音させるのではなく、丁寧に繰り返し聞かせ、子供が発音したくなるように導く。
- (4) ALT の授業協力
○ALT の存在を活かして、子供たちが外国語で聞いたり話したりしたいと思える場を設定する。
○外国語でコミュニケーションをとる際の発音、イントネーションなどのモデルとなってもらおう。
○ALT の自国の文化について紹介してもらい、子供たちが異文化に触れ、関心をもつきっかけをつくる。
- (5) ICT 機器の効果的な活用
電子黒板・デジタル教材などの ICT 機器を効果的に活用し、視覚的な補助や場面を伴った効果的なインプットを保障する。

5 外国語活動及び外国語科について ※総合・生活科については別紙参照

<外国語活動及び外国語科の重点目標>

外国語によるコミュニケーションを図る素地となる資質・能力の育成

① 本校が考えるコミュニケーション能力の素地とは

- (1) 進んで人と関わり合おうとする態度
- (2) 身近な場面での基本的な音声や表現を聞き取る力
- (3) 身近な場面での基本的な音声や表現を発話する力
- (4) 異文化のよさ（特徴）を感じ取る力

② 学習指導過程

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| ① Warm up
の歌 | あいさつ、「Hello song」など |
| ② Introduction
or Review | 導入、デモンストレーション
前時の復習 |
| ③ Activity
る) | 主となる活動（1～2 つ展開す |

③ 研修計画

- ア 授業研究を行い，③の手立てが効果的であったか検討する。効果的な活動内容や手立てについて，記録を残し，次年度の計画に活かす。
- イ 年度の始めや夏季校内研修等で，授業の進め方について共通理解するための研修を行う。
- ウ 夏季研修で，オンラインブレンディッド授業など授業で使えるコミュニケーション活動の実践的な研修を行う。

④ 評価

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて，自分のことや身近で簡単な事柄についての簡単な語句や基本的な表現，日常生活に関する身近で簡単な事柄についての具体的な情報を聞き取ったり，日常生活に関する身近で簡単な事柄についての短い話の概要を捉えたりする技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，自分のことや身近で簡単な事柄についての簡単な語句や基本的な表現，日常生活に関する身近で簡単な事柄についての具体的な情報を聞き取ったり，日常生活に関する身近で簡単な事柄についての短い話の概要を捉えたりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め，他者に配慮しながら，主体的に英語で話されることを聞こうとしている。</p>
読むこと	<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて，活字体で書かれた文字を識別し，その読み方(名称)を発音</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，活字体で書かれた文字を識別し，その読み方(名称)を発音したり，音声で十分に慣れ親しんだり簡単な語句や基本的な表現を読んで意味が分かっている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め，他者に配慮しながら，主体的に英語で書かれたことを読んで意味を分かろうとしている。</p>

	<p>する技能を身に付けている。音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を読んで意味が分かるために必要な技能を身に付けている。</p>		
話すこと（やりとり）	<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、指示、依頼をしたり、それらに応じたりする技能を身に付けている。日常生活に関する身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、その場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合ったりする技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、指示、依頼をしたり、それらに応じたりしている。日常生活に関する身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、その場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。</p>
話すこと（発表）	<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や自分のことについて話す技能を身に付けている。身近で簡単な</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や自分のことについて話している。身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ちなどを話している。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。</p>

	事柄についての自分の 考えや気持ちなどを話 す技能を身に付けてい る。		
--	--	--	--

6 研究体制

